

3 次世代につながる地域の子育ち、子育て環境を整えます

(5) 地域の子育ち環境を整えます

子ども同士や親、地域の大人との出会いが、安心と信頼に満ちていることによって、子どもは健やかに育ちます。子どもと大人がお互いの個性と人格を尊重し成長できるような、学びの場をつくります。また、障害のある子どもを含め一人ひとりの生きる力を育み、可能性や個性を伸ばす教育を推進し、子どもの悩みや問題に対する支援に努めます。そして、子どもを地域ぐるみのネットワークで支えていきます。

子どもがのびのびと遊び、子どもを連れた大人が安心して出歩くことができるように、公共施設や遊び場、道路環境の整備に努めます。また、子どもに安心できる環境をつくるとともに、誰もが安心してゆたかに暮らすことのできる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を進め、貴重な自然環境を次世代の子どもに引き継ぐために、参加型の取り組みをすすめていきます。

①一人ひとりを大切にした幼児教育、学校教育を推進します

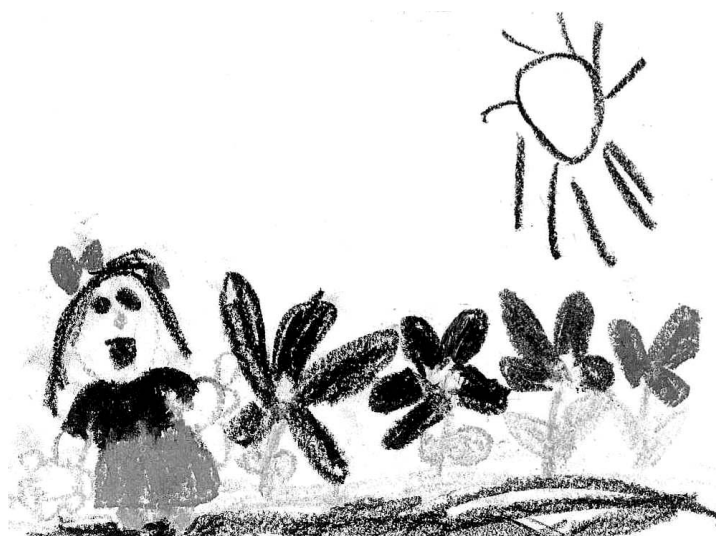
番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
1	一人ひとりを大切にしたりある教育	指導室	子ども	一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育を行う。	指導室／各学校において総合的な学習の時間を中心に実施(中学校:職場体験、小学校:外国人・障害者・高齢者との交流活動)	指導室／継続	指導室／実施学校数
2	幼稚園、保育所、小中学校の交流と連携	学務課 指導室 保育課	子どもと保護者	幼稚園、保育所、小学校、中学校および社会教育機関等が連携し、子どもの健全育成を図る。また、子どもの問題を話し合う情報交換会を開催する。	学務課／実施 指導室／実施 保育課／実施	学務課／未定 指導室／継続 保育課／検討	学務課／実施回数 指導室／実施学校数 保育課／未定
3	国際性を育む教育	指導室	小学生、中学生	外国人英語指導助手の導入による外国語教育、外国文化との交流、国際理解教育を行う。また、地域の大学や居住する外国人との交流を図る。	外国人英語指導助手(ALT)の活用 中学校:1学校あたり 30日/年 小学校:1学級あたり 25時間/年	継続	実施時間数
4	私立幼稚園協会補助金	学務課	私立幼稚園協会	幼稚園協会が行う事業への補助金を交付する。	731,000円交付	継続 平成21年度特別支援教育事業費(障害児分)新設 960,000円交付	補助金額、活動内容

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
5	ノーマライゼーションの普及	地域福祉課 障害福祉課	市民	高齢者も子どもも、障害のある人もない人も、社会の構成員として生きがいをもって生活し活動できる社会を築くため、ノーマライゼーションの普及を行う。	地域福祉課／東京都福祉のまちづくり条例に定める建築物の新設または改修に伴う届出受理件数4件 障害福祉課／障害計画等推進市民会議開催(2回) 障害者週間記念事業の実施(平成20年12月6日)	地域福祉課／小金井市地域福祉計画の策定 障害福祉課／推進	
6	食育の推進	健康課 保育課 指導室 学務課 その他関係各課	子どもと保護者	子どもの発達段階に応じた食に関する情報提供など、食育に関する支援を行う。また、食育推進会議や食育推進検討委員会を開催し、事業の円滑な推進を実施する。	健康課／ ①マタニティクッキング 4回・47人 ②離乳食教室 12回・137人 ③こどもクッキング 4回・36人 保育課／ 公立保育所において、食育計画や年間行事計画を作成し、季節に応じた食育事業を実施。また、毎月「給食だより」により、啓発を行う 指導室／ 研究授業 2回・50人 講演 1回・15人 学務課／ ①地場野菜を献立に取り入れた給食を2校で実施 ②給食だよりの発行等により献立内容、栄養価等を周知し児童、生徒への啓発を行った ③強化磁器食器の導入等給食の食環境の整備に努めた	健康課／継続 保育課／継続 指導室／継続 学務課／食に関する年間指導計画を各学校において整備する。	参加人数他
7	特別支援教育	指導室	小学生、中学生	発達障害があり、集団生活に適応しにくい子どもが、通級指導学級で適切な指導を受けたり、在籍校で学習指導員による個別指導を受けたりすることで、周りの子どもたちとの良好な関係が築けるよう支援する。	指導室／教員研修会実施(年8回)、特別支援学級推進委員会(年10回)、巡回相談(年50回)		指導室／実施回数
8	特別支援ネットワーク協議会	指導室 その他関係各課	子ども	障害のある子どものライフステージを見通し、乳幼児期から学校卒業後までにわたる福祉、医療、労働、教育等が一体となった支援を行うために、福祉、医療、労働、教育等に係る関係機関が互いに連携し、協議を行う。	未実施	平成21年度設置	実施回数

②子どもが安心して学べる環境をつくります

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
1	適応指導教室運営事業（もくせい教室）	指導室	小学生、 中学生	心理的要因等により登校できない児童・生徒に対し、実態に応じて個別、集団、訪問などの方法により適切な指導・援助を行う。	平成20年度入所人数10人	継続	入所人数
2	スクールカウンセラーの配置	指導室	小学生、 中学生	悩みなどを気楽に話し、心にゆとりを持てるような環境を提供するために、各小中学校にスクールカウンセラーを配置する。	小学校1,407件 中学校2,752件	継続	相談件数
3	教育相談事業	指導室	子ども	専門相談員による教育相談を実施し、各校の教育相談担当教諭と連携しながら、子どもが抱える様々な問題(虐待やいじめなど)に対応する。また、子ども自身が電話やインターネットで相談できる体制を作る。	来所相談 926件 電話相談 56件 メール相談 4件	継続	相談件数
4	いじめ・不登校の対策システム	指導室 地域福祉課 子育て支援課	子ども	いじめや虐待、非行、不登校など何か問題に遭遇した子どもを早期に発見し、保護者を支援しながらその原因を取り除き、楽しく学校に通えるようなシステムを作る。また、いじめや不登校等が起こらないような教育や環境づくりを行うために、地域ぐるみの支援ネットワークで支える。	指導室／文部科学省「問題を抱える子ども等自立支援事業」を活用し、学校・スクールカウンセラー・教育相談所・もくせい教室が組織的に連携協力し相談活動を行っている。 地域福祉課／地区連絡協議会を年1回行い、民生・児童委員、小平児童相談所、教育機関、子ども家庭支援センターとの意見交換等を行っている。 子育て支援課／要保護児童対策地域協議会での情報交換と支援	指導室／継続 地域福祉課／継続 子育て支援課／継続	いじめ件数 不登校者数
5	学校図書館活動	指導室	小学生、 中学生	小中学校図書館に図書館司書または司書教諭の資格のある人を学校図書館補助員として配置し、図書の整理、貸し出し、検索照会サービス、読書指導などを行うことにより学校図書館活動の充実を図る。	学校図書館補助員全校に配置。小中学校に週2日(1日5時間)×45週実施	継続	貸出数
6	小中学校に安全員の配置	学務課	小学生、 中学生	学校内の安全点検と来訪者の応対を行う。	小学校9校で巡回警備実施(1～3学期)	検討	
7	不審者対策のセーフティ教室	指導室	小学生	不審者対策として安全教室を実施する。	セーフティ教室 小学校全校実施	継続	実施学校数

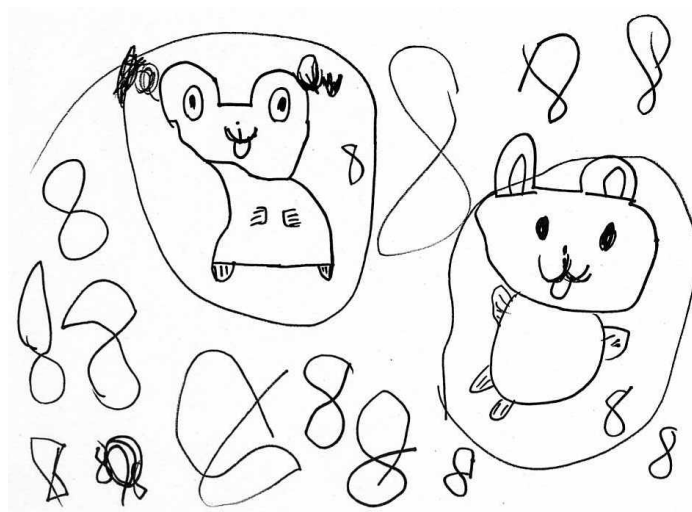
番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
8	小中学校の空調 設備の設置	学務課 庶務課	小学生、 中学生	よりよい環境で学べるよう小中 学校の教室への扇風機・クー ラーの設置を行う。	学務課／扇風機は市内小 中学校14校の普通教室に 設置。普通教室及び特別教 室に設置。計1,588台。 庶務課／クーラーは市立小 中学校14校の図書室、音楽 室、パソコン教室に設置完 了	学務課／平成20 年度全教室設置 済 庶務課／その他 のクーラーは学 校の要望の高い ものについて、 順次検討してい く。	
9	はけの森美術館 教育普及活動	コミュニティ文 化課	小学生、 中学生	はけの森美術館の教育普及 活動として、ワークショップ、 鑑賞教育、学校への出前授 業などを通し、子どもが美術 を中心とする芸術活動に出会 い、体験し、ゆたかな感性を 育むことに努める。	ミュージアムツアー: 展覧会 開催中の毎週土曜日 ギャラリートーク: 展覧会開 催中の毎週日曜日 ワークショップ3回、模写1 回、講座3回、 市立小学校4年生の鑑賞教 室2校、 市立小学校4年制の出張授 業2校	小学校4年生を 主とした対象とし て、教育普及を 積極的に進めて いる。	



③子どもが地域の一員となるための学習と交流の場をつくります

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
1	異年齢交流	介護福祉課 指導室 児童青少年課 保育課	市民	小・中・高校生が乳幼児とのふれあいを通じて、社会体験学習と育児感覚を身につけたり、子どもが地域の親、高齢者と交流できる場を設ける。	介護福祉課／老人クラブ会員が、小学校を訪問して昔遊びを教えたり(老人クラブへ補助金を交付)、敬老の日に学童から手作りのプレゼントを受け取ったりして交流を図った(喜寿祝いカードを1,188人に贈呈)。 指導室／各学校において総合的な学習の時間を中心に実施(中学校:職場体験、小学校:外国人・高齢者との交流活動) 児童青少年課／小・中学生と赤ちゃんの異世代交流事業(本町児童館)6回、32人参加。中高校生と乳幼児のふれあい(東児童館)2回、15人参加。小学生と1,2歳児の交流(貫井南児童館)4回109人。乳幼児保護者向けライブ(中・高校生世代との交流)1回30人参加。 保育課／公立保育所で中学生ボランティアを受け入れ(受入人数22人)	介護福祉課／継続 指導室／継続 児童青少年課／継続 保育課／継続	介護福祉課／実施件数・参加人数 指導室／実施学校数 児童青少年課／参加人数 保育課／受け入れ人数
2	青少年体験・交流事業	児童青少年課	12歳～18歳の子ども	キャンプなどの体験を通して、心身ともに豊かさを育むための事業を行う。	わんぱく団の活動(児童館4館合同事業)年1回、小学生75人、ボランティア26人参加	継続	参加人数
3	児童館の整備	児童青少年課	12歳～18歳の子ども	青少年の居場所を児童館につくり、自由に話したり、楽器を演奏したりすることができるように努める。	中・高校生世代交流会(本町児童館)1回、4人 中高校生タイム(東児童館)47回、690人 中・高校生対象夜間開館(貫井南児童館)22回、275人 中・高校生対象講座(バンドスクール・デコレーションアート教室、貫井南児童館)7回、29人	継続	参加人数
4	市民まつり、子ども週間行事の促進	児童青少年課	子どもと保護者	市民まつりや子ども週間行事を通じて、地域住民や各種団体の協力を得ながら、児童青少年に健全な遊び場を設け、子どもの創意工夫による活動を実施する。	市民まつり子ども部門行事・子ども週間行事(各6地区で実施) 市民まつり3,907人参加 子ども週間行事3,445人参加	継続	参加人数
5	地域諸団体への活動支援	児童青少年課	地域諸団体	青少年健全育成地区委員会や子ども会などの地域諸団体に対し、活動支援を行う。	補助金交付事業実施	継続	

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
6	地域人材リストの作成	コミュニティ文化課 児童青少年課 生涯学習課	コミュニティ文化課、児童青少年課／子どもと保護者 生涯学習課／サークル・団体	コミュニティ文化課、児童青少年課／地域で活躍するスペシャリストやボランティアのリストを作成し、子ども向けイベントなどへの紹介を行う。 生涯学習課／文化、芸術、教育、学習、レクリエーション活動を援助するため、社会活動援助者として市民に登録してもらい、団体・サークル等の求めに応じ、講師を紹介し活動の活性化を図る市民講師登録制度を実施する。	コミュニティ文化課／NPO法人内閣府及び都認証57団体は、一般的に紹介している。 児童青少年課／未実施 生涯学習課／登録者11件	コミュニティ文化課／市民協働の観点で継続 児童青少年課／実施を含め検討 生涯学習課／継続	生涯学習課／利用者数
7	まなびあい出前講座	生涯学習課	市民	市民・団体が主催する学習会に市役所の職員が出向き、担当事業などについて話をし、市民の生涯学習を応援する。	参加回数／33回、 参加者数／734人	継続拡大	参加人数



④子育て、子育てしやすい生活環境等を整備します

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
1	ユニバーサルデザイン のまちづくり	交通対策課 障害福祉課 ごみ対策課 まちづくり推進課	市民	ベビーカーや車イスがゆったりと通ることができ、子どもが安全、快適に生活できるまちづくりを行うことによって、誰もがゆたかに暮らし「心のバリアフリー」が実現できるまちづくりを行う。	交通対策課／放置自転車の撤去作業を毎日実施(撤去回数241回、撤去台数9,453台) 障害福祉課／太陽のひろば参加者数89人 ごみ対策課／路上禁煙キャンペーンを月1回、毎月実施 まちづくり推進課／小金井バリアフリーまちづくり基本構想特定事業計画を策定	交通対策課／放置自転車の撤去作業継続(土・日・祝も拡大実施)。JR中央線高架下も含めた自転車駐輪場設置計画を策定する。 障害福祉課／推進 ごみ対策課／継続	交通対策課／放置自転車の減少 障害福祉課／活動数 ごみ対策課／実施回数
2	子どもにやさしい自然環境の整備	環境政策課 その他関係各課	子ども	国分寺崖線(はけ)のみどりや湧水などの自然環境の保全のため、意識啓発を図るとともに、みどりを増やし、みどりゆたかで快適なまちづくりを行う。	環境政策課／未実施	環境政策課／充実	
3	幹線道路の整備	都市計画課	市民	すべての人々が安全で快適な生活が営めるように、歩道空間や道路の整備を行う。	都市計画道路3・4・3号線、3・4・12号線及び3・4・14号線について、道路拡幅のために、用地買収を行った。	都市計画道路整備事業の推進(21年度新たに都市計画道路3・4・1号線、3・4・8号線及びJR中央本線まちづくり側道の道路整備事業に着手。)	整備が完了することによる安全性について行う
4	子どもが通る道の安全確保	交通対策課	子ども	子どもが安全に過ごせるよう、学区域にとらわれず、通学路周辺の安全確保を行う。	市内の市立小学校全9校について通学路点検を継続実施	継続	
5	交通安全教育の推進	交通対策課 指導室	市民 子ども	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を推進し、交通事故防止を図る。	交通対策課／交通安全運動期間時において、交通ルールを守ること等の広報及びイベントを実施。 二中において、スタントマンを活用した自転車交通安全教育を実施 指導室／市立小学校が警察署等と連携して交通安全教室を実施	継続	回数

⑤地域から緑と環境を守ります

番号	事業名称	担当課	対象	事業の内容	現況 (H20年度)	目標値・実施内容 (H22～26年度)	評価の方法
1	環境教育や環境学習	環境政策課 指導室	子ども	環境政策課／環境行事として環境博覧会の開催を行う。小金井市環境市民会議と共催で、かんきょう博覧会(手をつなごう小金井のかんきょう)を開催している。 指導室／環境副読本の作成配布、緑のカーテンや屋上緑化の推進、ピオトープの活用、CO2削減活動を実施する。	環境政策課／「かんきょう博覧会(手をつなごう小金井のかんきょう)」11月15日(土)～16日(日)実施 指導室／各学校に配布(従来の小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学生の冊子を1枚のCD-ROMに納め、各クラス1枚ずつ配布)	環境政策課／継続 指導室／緑のカーテン、屋上緑化、ピオトープ、CO2削減活動	環境政策課／環境展示会入場者数、プログラム件数など 指導室／実施学校数
2	ごみ減量、資源化啓発事業	ごみ対策課	子ども	環境教育の資料「くらしのなかのごみ減量」の作成、生ごみ処理機の設置などを行う。	生ごみ処理機を市内公共施設に新規3箇所設置し、合計23基が稼働している。ごみ対策課非常事態宣言キャンペーンを1月に実施。「くらしのなかのごみ減量」作成／8,000冊	資料作成配布及び小中学校児童・生徒を対象とした啓発を実施するとともに、ごみ減量キャンペーンを継続実施	部数 箇所数 回数

